

動詞.3 五段活用

名前 解答

解答

五段活用：活用語尾がアイウエオの五つの段に変化。

語の続き	帰る		言う		例
	帰	帰	言	言	語幹
	ろ	ら	お	わ	未然形
	つ	り	つ	い	連用形
		る	う	う	終止形
	の	る	う	う	連体形
	こと	れ	え	え	假定形
	とき	れ	え	え	命令形
	ば				

例：言わない・言おう（未然形）

音便：五段活用の連用形に「た・て」などを付ける時、活用語尾の音が変化すること。

- ① 急ぐ＋た↓急ぎた↓**急いだ**【イ音便】
 - ② 言う＋た↓言いた↓**言った**【促音便】
 - ③ 生む＋た↓生みた↓**生んだ**【撥音便】
- ※穏便になる時「た・て」が「だ・で」になることがある。

(1) 次の文において、「飛ぶ」を活用させて書け。

- ① 高く（ ） ことができたらしいな。 (飛ぶ)
- ② 帽子が風で（ ） でいった。 (飛ん)
- ③ 今すぐ空へ（ ） ！ ※命令 (飛べ)
- ④ その鳥はまだ空を（ ） ない。 (飛ば)
- ⑤ かごから出て、空を（ ） ばいいのに。 (飛べ)

(2) 次の動詞について、（ ）に合うように、音便の形に変化させよ。また音便の種類も答えよ。

- ① 【書く】 昨日のことをノートに（ ）た。
音便「イ音便」 (書いた)
- ② 【打つ】 ボールを力いっぱい（ ）た。
音便「促音便」 (打った)
- ③ 【聞く】 先生の話をよく（ ）た。
音便「イ音便」 (聞いた)
- ④ 【飲む】 友だちとジュースを（ ）た。
音便「撥音便」 (飲んだ)
- ⑤ 【待つ】 バスが来るまで（ ）た。
音便「促音便」 (待った)
- ⑥ 【読む】 本を夢中で（ ）た。
音便「撥音便」 (読んだ)
- ⑦ 【歩く】 遠くまで（ ）たら疲れた。
音便「イ音便」 (歩いた)

(3) 次の線部の動詞の活用形は何か。

- ① 彼は毎日学校へ通う。 (終止形)
- ② 私は前の学校の友達に手紙を書いた。 (連用形)
- ③ 兄が話す声が聞こえる。 (連体形)
- ④ もつと強く持てばよかった。 (假定形)
- ⑤ 彼は最後まで戦わなかった。 (未然形)

